

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2015年11月4日
【四半期会計期間】	第38期第2四半期（自 2015年7月1日 至 2015年9月30日）
【会社名】	株式会社ココスジャパン
【英訳名】	COCO'S JAPAN CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 住田 正則
【本店の所在の場所】	東京都港区港南二丁目18番1号
【電話番号】	03-6833-8000（代表）
【事務連絡者氏名】	経営企画室ゼネラルマネジャー 額川 幸夫
【最寄りの連絡場所】	東京都港区港南二丁目18番1号
【電話番号】	03-6833-8000（代表）
【事務連絡者氏名】	経営企画室ゼネラルマネジャー 額川 幸夫
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第37期 第2四半期 累計期間	第38期 第2四半期 累計期間	第37期
会計期間	自2014年 4月1日 至2014年 9月30日	自2015年 4月1日 至2015年 9月30日	自2014年 4月1日 至2015年 3月31日
売上高 (千円)	29,776,712	29,924,439	59,096,857
経常利益 (千円)	1,417,189	1,447,856	2,506,434
四半期(当期)純利益 (千円)	800,214	846,418	1,354,907
持分法を適用した場合の投資利益 (千円)	-	-	-
資本金 (千円)	3,198,904	3,198,904	3,198,904
発行済株式総数 (株)	17,268,273	17,268,273	17,268,273
純資産額 (千円)	21,565,985	22,559,761	21,917,010
総資産額 (千円)	28,446,616	28,611,522	29,502,636
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	47.15	49.87	79.83
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
1株当たり配当額 (円)	12.00	12.00	24.00
自己資本比率 (%)	75.8	78.8	74.3
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	2,423,939	701,249	5,592,104
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	867,420	1,106,080	1,606,448
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	518,022	389,576	937,630
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円)	2,063,427	3,278,549	4,072,957

回次	第37期 第2四半期 会計期間	第38期 第2四半期 会計期間
会計期間	自2014年 7月1日 至2014年 9月30日	自2015年 7月1日 至2015年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	27.18	39.29

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度にかかる主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期累計期間において、当社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動也没有。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第2四半期累計期間（2015年4月1日から2015年9月30日まで）におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境に改善が見られるなど緩やかな回復基調で推移いたしました。中国経済をはじめとする海外景気の減速懸念などの下振れリスクもあり、先行き不透明な状況が続きました。

外食産業におきましては、個人消費が本格回復に至らない中、円安や国内外の市況の高騰による原材料価格の上昇等により、引き続き厳しい経営環境となっております。

このような状況のもと当社は、安全でおいしい「食」の提供と質の高いサービスを通じてお客様に豊かさや幸せを提供することに全力で取り組んでまいりました。

当第2四半期会計期間末の店舗数につきましては、1店舗の新規出店（直営1店舗）、1店舗の閉店（直営1店舗）を行うとともに、7月1日にゼンショーグループ会社である（株）エイ・ダイニングより、メキシカンレストラン「エルトリート」の5店舗の譲受けを行った結果、573店舗（直営488店舗、ライセンス85店舗）と前期末比5店舗の純増となりました。

当第2四半期累計期間の売上高につきましては、店舗のQ Q S C（クオリティ・クイックサービス・クリンリネス）を磨き上げるとともに、お得なセット商品の導入やサイズバリエーションの充実、T V C Mを始めとしたプロモーションを行ったものの、既存店売上高前年比は99.0%となりました（当第2四半期会計期間の既存店売上高前年比は100.4%）。全社売上高に関しましては、前期にオープンした店舗の売上、及び新たに加わった「エルトリート」の売上等が寄与し、前期比100.5%で着地いたしました。

利益面につきましては、既存店売上高の回復に加え、エネルギーコスト（電気・ガス）の落ち着きや、固定費等のさらなる見直し等を徹底的に行った結果、前期比増益となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高299億24百万円（前年同期比0.5%増）、営業利益14億13百万円（同2.4%増）、経常利益14億47百万円（同2.2%増）、四半期純利益8億46百万円（同5.8%増）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、営業活動によるキャッシュ・フローが7億1百万円の資金の増加、投資活動によるキャッシュ・フローが11億6百万円の資金の減少、財務活動によるキャッシュ・フローが3億89百万円の資金の減少となり、当第2四半期会計期間末の資金残高は32億78百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローの資金の増加要因につきましては、税引前四半期純利益14億29百万円、減価償却費12億80百万円、未払消費税等の減少額4億99百万円、法人税等の支払額5億22百万円等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローの資金の減少要因につきましては、有形固定資産の取得による支出8億47百万円等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローの資金の減少要因につきましては、配当金の支払額2億2百万円等によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期累計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	46,100,000
計	46,100,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (2015年9月30日)	提出日現在発行数(株) (2015年11月4日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	17,268,273	17,268,273	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	17,268,273	17,268,273	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
2015年7月1日～ 2015年9月30日	-	17,268,273	-	3,198,904	-	3,014,004

(6) 【大株主の状況】

2015年 9 月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
株式会社ゼンショーホールディングス	東京都港区港南 2 - 18 - 1	8,700	50.38
ココスジャパン従業員持株会	東京都港区港南 2 - 18 - 1	164	0.95
アサヒビール株式会社	東京都墨田区吾妻橋 1 - 23 - 1	100	0.58
株式会社大倉商事	茨城県ひたちなか市中根4924	86	0.50
MELLON BANK TREATY CLIENTS OMNIBUS (常任代理人 株式会社みずほ銀行)	ONE BOSTON PLACE BOS TON, MA 02108 (東京中央区月島 4 - 16 - 13)	43	0.25
国分株式会社	東京都中央区日本橋 1 - 1 - 1	30	0.17
泉 三和子	東京都日野市	26	0.15
昭和産業株式会社	東京都千代田区内神田 2 - 2 - 1	26	0.15
日本マスタートラスト信託銀行株式会 社	東京都港区浜松町 2 - 11 - 3	25	0.15
エム・シーシー食品株式会社	兵庫県神戸市長田区苅藻通 5 - 4 - 18	25	0.14
計	-	9,226	53.43

(注) 上記のほか、自己株式が295千株 (1.71%) あります。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2015年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 295,900	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 16,971,300	169,713	-
単元未満株式	普通株式 1,073	-	-
発行済株式総数	17,268,273	-	-
総株主の議決権	-	169,713	-

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が1,800株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数18個が含まれております。

【自己株式等】

2015年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社ココスジャパン	東京都港区港南二丁目18番1号	295,900	-	295,900	1.71
計	-	295,900	-	295,900	1.71

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（2007年内閣府令第63号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第2四半期会計期間（2015年7月1日から2015年9月30日まで）及び当第2四半期累計期間（2015年4月1日から2015年9月30日まで）に係る四半期財務諸表について、PwCあらた監査法人による四半期レビューを受けております。

なお、あらた監査法人は、2015年7月1日付をもって名称をPwCあらた監査法人に変更しております。

3．四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

1 【四半期財務諸表】

(1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (2015年 3 月31日)	当第 2 四半期会計期間 (2015年 9 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,045,119	491,527
売掛金	642,123	724,381
商品	49,393	47,119
原材料及び貯蔵品	355,173	341,830
関係会社短期貸付金	3,027,837	2,787,022
その他	1,012,825	1,240,036
流動資産合計	6,132,472	5,631,919
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	35,738,846	36,033,866
減価償却累計額	22,870,027	23,378,460
建物及び構築物（純額）	12,868,819	12,655,406
機械装置及び運搬具	4,452,210	4,572,939
減価償却累計額	2,567,279	2,744,329
機械装置及び運搬具（純額）	1,884,931	1,828,610
その他	6,907,794	6,786,957
減価償却累計額	4,800,671	4,785,180
その他（純額）	2,107,123	2,001,776
有形固定資産合計	16,860,874	16,485,793
無形固定資産	168,091	186,766
投資その他の資産		
差入保証金	4,609,275	4,688,415
その他	1,736,392	1,623,097
貸倒引当金	4,470	4,470
投資その他の資産合計	6,341,197	6,307,043
固定資産合計	23,370,164	22,979,603
資産合計	29,502,636	28,611,522

(単位：千円)

	前事業年度 (2015年 3 月31日)	当第 2 四半期会計期間 (2015年 9 月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,029,689	1,746,337
未払法人税等	572,005	683,627
賞与引当金	252,316	255,133
その他	4,326,730	3,056,672
流動負債合計	7,180,742	5,741,771
固定負債		
資産除去債務	154,831	158,330
その他	250,052	151,659
固定負債合計	404,884	309,990
負債合計	7,585,626	6,051,761
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,198,904	3,198,904
資本剰余金	3,014,004	3,014,004
利益剰余金	16,132,957	16,775,708
自己株式	428,854	428,854
株主資本合計	21,917,010	22,559,761
純資産合計	21,917,010	22,559,761
負債純資産合計	29,502,636	28,611,522

(2) 【四半期損益計算書】

【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年9月30日)
売上高	29,776,712	29,924,439
売上原価	10,282,310	10,320,910
売上総利益	19,494,402	19,603,529
販売費及び一般管理費	18,114,962	18,190,395
営業利益	1,379,439	1,413,133
営業外収益		
受取利息	13,831	15,819
受取賃貸料	107,912	87,611
その他	30,738	27,516
営業外収益合計	152,482	130,947
営業外費用		
支払利息	4,087	1,978
賃貸費用	99,512	74,770
その他	11,132	19,475
営業外費用合計	114,731	96,224
経常利益	1,417,189	1,447,856
特別利益		
移転補償金	8,364	-
負ののれん発生益	-	10,969
その他	-	441
特別利益合計	8,364	11,410
特別損失		
固定資産処分損	21,512	28,824
賃貸借契約解約損	4,126	-
その他	2,595	1,000
特別損失合計	28,235	29,824
税引前四半期純利益	1,397,318	1,429,443
法人税、住民税及び事業税	600,478	586,751
法人税等調整額	3,375	3,727
法人税等合計	597,103	583,024
四半期純利益	800,214	846,418

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位 : 千円)

	前第 2 四半期累計期間 (自 2014年 4 月 1 日 至 2014年 9 月30日)	当第 2 四半期累計期間 (自 2015年 4 月 1 日 至 2015年 9 月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	1,397,318	1,429,443
減価償却費	1,326,010	1,280,403
のれん償却額	9,802	10,455
負ののれん発生益	-	10,969
賞与引当金の増減額 (は減少)	31,688	2,817
受取利息及び受取配当金	13,831	15,819
支払利息	4,087	1,978
固定資産処分損益 (は益)	17,653	22,132
移転補償金	8,364	-
賃貸借契約解約損	4,126	-
売上債権の増減額 (は増加)	18,898	82,258
たな卸資産の増減額 (は増加)	48,415	19,041
仕入債務の増減額 (は減少)	17,661	283,351
未払消費税等の増減額 (は減少)	382,709	499,705
その他	200,998	650,941
小計	2,865,228	1,223,224
利息及び配当金の受取額	1,300	2,722
利息の支払額	4,087	1,978
法人税等の支払額	438,502	522,719
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,423,939	701,249
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	858,303	847,275
有形固定資産の売却による収入	-	3,137
移転補償金による収入	8,364	-
無形固定資産の取得による支出	15,219	5,290
長期前払費用の取得による支出	540	-
事業譲受による支出	-	320,718
差入保証金の差入による支出	10,349	7,741
差入保証金の回収による収入	4,229	68,638
長期前払家賃の回収による収入	4,400	4,400
長期前払家賃の支出	-	1,231
投資活動によるキャッシュ・フロー	867,420	1,106,080
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	65,277	-
リース債務の返済による支出	251,632	186,890
配当金の支払額	201,112	202,685
財務活動によるキャッシュ・フロー	518,022	389,576
現金及び現金同等物の増減額 (は減少)	1,038,496	794,407
現金及び現金同等物の期首残高	1,024,931	4,072,957
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,063,427	3,278,549

【注記事項】

(四半期損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第 2 四半期累計期間 (自 2014年 4 月 1 日 至 2014年 9 月30日)	当第 2 四半期累計期間 (自 2015年 4 月 1 日 至 2015年 9 月30日)
従業員給与賞与	6,909,275千円	6,938,205千円
賞与引当金繰入額	264,394	255,133
賃借料	3,246,149	3,266,078

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第 2 四半期累計期間 (自 2014年 4 月 1 日 至 2014年 9 月30日)	当第 2 四半期累計期間 (自 2015年 4 月 1 日 至 2015年 9 月30日)
現金及び預金勘定	850,280千円	491,527千円
現金同等物に含まれる短期貸付金又は短期 借入金 (注)	1,213,147	2,787,022
現金及び現金同等物	2,063,427	3,278,549

(注) ㈱ゼンショーホールディングスがグループ各社に提供するキャッシュ・マネジメント・システムによるものです。

(株主資本等関係)

前第2四半期累計期間(自 2014年4月1日 至 2014年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2014年6月16日 定時株主総会	普通株式	203,668	12	2014年3月31日	2014年6月17日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期会計期間末日
後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2014年11月12日 取締役会	普通株式	203,668	12	2014年9月30日	2014年12月4日	利益剰余金

当第2四半期累計期間(自 2015年4月1日 至 2015年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2015年6月17日 定時株主総会	普通株式	203,668	12	2015年3月31日	2015年6月18日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期会計期間末日
後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2015年11月4日 取締役会	普通株式	203,668	12	2015年9月30日	2015年12月4日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期累計期間(自 2014年4月1日 至 2014年9月30日)

当社は、外食事業単一のセグメントであるため、記載を省略しております。

当第2四半期累計期間(自 2015年4月1日 至 2015年9月30日)

当社は、外食事業単一のセグメントであるため、記載を省略しております。

(企業結合等関係)

共通支配下の取引等

取引の概要

1. 対象となった事業の名称及びその事業の内容
事業の名称：株式会社エイ・ダイニングのメキシコ料理事業
事業の内容：メキシカンレストラン「エルトリート」の経営
2. 企業結合日
2015年7月1日
3. 企業結合の法的形式
株式会社エイ・ダイニングを分割会社、株式会社ココスジャパンを承継会社とする会社分割
4. 結合後企業の名称
株式会社ココスジャパン
5. その他取引の概要に関する事項
株式会社エイ・ダイニングのレストラン事業を当社に集約することにより、今後の出店戦略等の事業計画立案をより効率的に推進する体制を構築することを目的としております。

実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」に基づき、共通支配下の取引として処理しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	47円15銭	49円87銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	800,214	846,418
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	800,214	846,418
普通株式の期中平均株式数(千株)	16,972	16,972

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

2015年11月4日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 中間配当による配当金の総額.....203,668千円

(ロ) 1株当たりの金額.....12円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....2015年12月4日

(注) 2015年9月30日現在の株主名簿に記載または記録された株主に対し、支払いを行ないます。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2015年11月4日

株式会社ココスジャパン

取締役会御中

PwCあらた監査法人

指定社員 公認会計士 戸田 栄
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ココスジャパンの2015年4月1日から2016年3月31日までの第38期事業年度の第2四半期会計期間（2015年7月1日から2015年9月30日まで）及び第2四半期累計期間（2015年4月1日から2015年9月30日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書、四半期キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ココスジャパンの2015年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- （注） 1．上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2．XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。